

事例1 高等学校英語科

1 単元について

| | |
|--------|--|
| 対象学年 | 高等学校 第1学年 |
| 学習指導要領 | 対話をする事(イ) |
| 単元名 | Step Oral Communication I Part2 Lesson2 Giving Directions (道案内) |
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・道を尋ねたり尋ねられたりした時に身振りをまじえたり地図を使って積極的に対話をしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・道案内を正確に行うことができる。また、自分が尋ねたいことについて適切な表現を用いて十分に伝えることができる。 (表現の能力) ・道案内を正確に聞くことができる。また、尋ねられたことに対して必要な部分を聞き取り、全体の内容を適切に把握することができる。 (理解の能力) ・道案内に関する基本的な表現を習得し、対話の流れを理解している。 (言語や文化に対する知識・理解) |
| 配慮事項 | <p>基本的な道案内の対話を習熟させるために、以下の事項に配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しかけ方から始まり、たずね方・答え方・お礼の言い方などの重要表現をきちんと理解させる。 ・ペアワーク、A L Tとの練習を通じてさまざまな場面での応用ができるようにする。 ・教科書にある場面だけでなく、自分の実際の場面を用いての自己表現につなげていく。 ・言語材料については、毎時、テープやA L Tの対話を聞き、後について練習させる。「発音」「アクセント」「イントネーション」に注意しながら、実際のコミュニケーションに役立つよう指導する。 |
| 事前の準備 | A L Tの家の近隣の地図 生徒の家の近隣の地図 外国の地図 |
| 資料 | 評価補助簿 |

2 単元の評価規準

| | ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ 表現の能力 | ウ 理解の能力 | エ 言語や文化についての知識・理解 |
|--------------|--|--|--|---|
| 対話をするものの評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・対話による言語活動に積極的に取り組んでいる。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関心のあることについて、正しく英語で話すことができる。 ・関心のあることについて、適切に英語で質問したり答えたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手が伝えようとすることを、正確に理解することができる。 ・相手が伝えようとすることを、場面や目的に応じて適切に聞き取り、反応することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・日常生活の身近な話題について、英語の学習において取り扱われた文化について理解している。 |
| 単元の評価規準 | <p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き返し、あいづちなどを通して相手の道案内を積極的に聞いている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくいところ、大切なところを聞き返して、理解している。 ・ジェスチャーを用いたり、地図を指し示したり、別の表現で言い換えたりして、対話を継続している。 ・目印など必要なところを強調して印象的に話を進めている。 | <p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強勢・イントネーションなどに留意して正しく道案内ができる。 ・地図を手がかりに既習の表現を用いて話すことができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の理解を確認しながら相手にわかる表現を用いて道案内をすることができる。 | <p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の内容を的確に把握して正しく聞き取ることができる。 <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の内容を場面に応じて適切に聞き取ることができる。 | <p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内に関する語句に対して習熟し、実際の対話の中で活用することができる。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物や通りの名称についての知識を身に付けている。 |

| | ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ 表現の能力 | ウ 理解の能力 | エ 言語や文化についての知識・理解 |
|------------------|---|--|--|--|
| 単位時間における具体的な評価規準 | <p>道案内によく使われる表現を使い言いたいことを相手に伝えている。</p> <p>あいづちやジェスチャー・メモを活用して対話を継続している。また、わかりにくいところや大切なところを聞き返したり、繰り返したりしている。</p> | <p>道案内の表現を使って相手にわかるように正確に情報を伝えることができる。</p> <p>道案内に必要な情報を得たり、伝えたりする表現を、場面に応じて適切に使うことができる。</p> | <p>道案内の表現を聞き取り相手からの情報を正確に理解できる。</p> <p>道案内に必要な情報を得たり、伝えたりする表現を、場面や情報に応じて適切に聞き取ることができる。</p> | <p>道案内についての基本的な表現についての知識を身に付けている。</p> <p>自分の説明している建物や通りの名称についての知識を身に付けている。</p> |

3 指導と評価の計画（全3時間）

| 時 | ねらい | 学 習 活 動 | 評価規準 | | | | 評価方法 | 指導・援助 |
|---|---|---|------|---|---|---|--|-------|
| | | | ア | イ | ウ | エ | | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な道案内の対話を理解して、必要な表現を習得する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な道案内の対話を聞き取り、必要な情報を把握する。 ○基本的な道案内の表現を知り、実際に使ってみる。 ○語句の解説を読み、JTE・ALTの説明を聞いて理解する。 ○ペアで道案内の指示の練習をする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 活動の観察 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの対話を聞かせることによって、実際に英語が使われる場面を想起させる。 ・語句の説明は、具体的な文を提示しながら行う。 | |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 道案内の表現に習熟し、基本的な会話ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな道案内の会話を聞いて内容を把握できるようにする。 ○ペアでより複雑な会話を練習する。 ○ワークブックにしたがって道案内の会話に習熟する。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 ワークブックの記入状況のチェック | <ul style="list-style-type: none"> ・1時間目より会話のスピードを速め、よりナチュラルな会話に近づける。基本文を見なくても言えるように習熟させる。 | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> 道案内の基本的表現を生かして、自分の近隣の案内や観光地の道案内ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ALTの故郷の地図を用いて会話を聞き、内容を把握できるようにする。 ○自分の近隣の地図を使って自分の住んでいる地域をペアの相手やALTに伝える。 ○インターネットを活用し、自分の行ってみたい観光地の案内や、日本を訪れる旅行者に道案内ができるようにする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> プリントチェック 活動の観察 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの説明が理解できているかの確認を行う。 ・同じペアだけでなく、ペアを替えて行う。 | |

4 単位時間の授業例

(1) 本時のねらい

道案内の基本的表現を生かして、自分の近隣の案内や観光地の道案内ができる。

(2) 本時の位置

3 / 3 時

(3) 展開例

| | 学 習 活 動 | 評価について | 指導・援助 |
|-------|---|---|---|
| 前時の復習 | ○教科書 p.30 の地図を使ってペアで場所を教えあう。 | ○机間巡視を行い、前時までに習得した表現を積極的に使っているか確認する。 (評価はしない) | ○活動が単調にならないように、また滑らかに進むよう注意する。 |
| 導入 | ○本時の課題を提示する。 1 . A L T の家を地図上で探してみよう。 2 . 自分の家の位置を相手に説明してみよう。 3 . インターネットで見つけた観光地を相手に教えてみよう。 | ○プリントに丸をつけさせて回収する。 ウ | ○ A L T による単調な説明にならないよう留意し、 J T E が聞き役となる。難しい語句については、繰り返しや言い換えをしてもらうよう指示する。 |
| 展開 | ○リスニング練習 (A L T) A L T に家や町のように紹介してもらい、プリントの地図にメモをする。 | ○机間巡視により生徒が既習事項を理解して積極的にコミュニケーションをはかろうとしているかを確認する。 イ | ○会話が成立するよう相手に対して一方的に話すのではなく、質問の内容をよく聞いて、大切なところは、ゆっくり話すように指導する。 |
| まとめ | ○インターネットで実際の観光地の地図を探しておき、プロジェクターで教室の前に映す。生徒を指名して説明させる。 | | ○学習全体のまとめとしてよい点を指摘するよう配慮し、全体の場では、細かい誤りについては指摘しない。 |

